



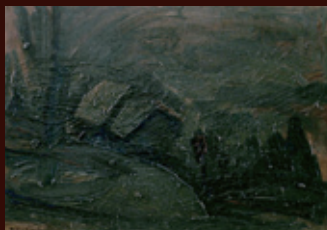
8.



6.



3.



4.



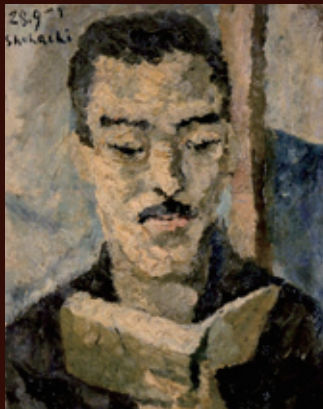
5.



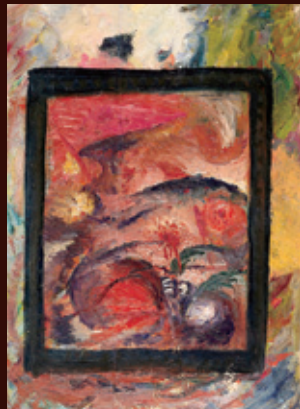
1.



2.



9.



7.



10.

1. ヴィクトール・バリモフ「親子」 油彩・画布 1920(大正9)年
2. 橋本八百二「人形を配せる静物」 油彩・画布 1926(大正15)年
3. 萬鉄五郎「海岸風景」 油彩・画布 1923(大正12)年
4. 萬鉄五郎「夜の雪」 油彩・板 1916(大正5)年頃
5. 萬鉄五郎「丘のみち」 油彩・画布 1918(大正7)年
6. 萬鉄五郎「軽業師」 油彩・板 1912(明治45)年頃
7. 萬鉄五郎「心象風景」 油彩・板 1912(明治45)年頃
8. 五味清吉「秋草」 油彩・画布 1915(大正4)年
9. 木村荘八「長兄像」 油彩・画布 1913(大正2)年
10. 大下藤次郎「風景・秋の野」 水彩・紙 1900(明治33)年

萬鉄五郎は近代日本を代表する洋画家ですが、その突出した個性は同時代の画家たちと比較しても層際立つ特異性を示しています。万、郷土岩手においても強い求心力をもつ存在として、多くの若い画家に影響を与えたのもまた事実です。

当館は昭和59年の開館以来、萬とあわせて同時代の作家の作品も収蔵してきました。この度、開館31年目を迎えるにあたり、萬鉄五郎と同時代の画家たちの作品により、彼が活躍した明治末から大正昭和初期にかけての我が国の近代絵画における位置づけ、さらには郷里岩手における影響について概観する展覧会を企画しました。

中央の画家たち、そして岩手の画家たちとの対比から、あらためて画家 萬鉄五郎が占める位置、その存在の意義について再確認したいと思います。

萬鉄五郎 存在展

——萬鉄五郎とその周辺の画家たち

第35回 萬鉄五郎祭

〔日時〕5月3日〔日・祝〕

〔会場〕土沢幼稚園講堂、萬鉄五郎記念美術館前広場

●式典

5月3日〔日・祝〕 14時～14時30分
献花、「鉄人独語」朗読など

●茶会

会場 第一席 荷舟庵 第二席 萬鉄五郎記念美術館前
お茶券 700円

●写生会

実施団体 東和町茶道研究会
会場 萬鉄五郎記念美術館周辺
参加費 500円

●写生会作品展示会

自分の作品をマイバッグにプリントサービス
会場 花巻市立東和図書館（花巻市東和町安塚6-90）
4月27日〔月〕～5月10日〔日〕 9時～17時

土澤アートクラフトフェア

〔日時〕5月3日〔日・祝〕・4日〔月・祝〕10時～16時

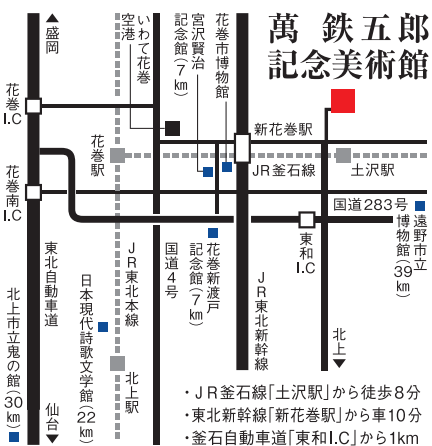
〔会場〕萬鉄五郎記念美術館周辺&土澤商店街

県内外から美術品や工芸品、いろいろな手づくり作品のお店 250件が大集合

「田村晴樹」展

i w a t e コンテンポラリーアート vol.4
〔日時〕4月11日〔土〕～6月28日〔日〕9時～16時30分

〔会場〕萬鉄五郎記念美術館「八丁土蔵ギャラリー」
〔料金〕入場無料



萬鉄五郎記念美術館

〒028-0114 岩手県花巻市東和町土沢5-135
TEL.0198-42-4402 FAX.0198-42-4405